



豊かな自然と伝統文化を継承する郷

夏山学区

NATSUYAMA

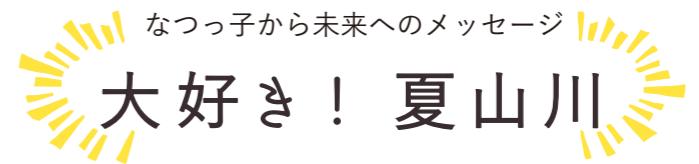


夏山川ぴかぴか祭り

小学校と地域が連携し、総合学習、美化活動、交流の場となっている夏の恒例行事。“ぴかぴか”の言葉には「夏山川がいつまでもきれいであってほしい」との子どもたちの願いが込められ、学習成果発表、川の清掃、川遊びを通して、その願いを受け継いでいます。



総合学習「生き物による水質調査」では、市の調査担当者から「きれいな川にしか棲まない水生生物がたくさん見つかるね」と、お褒めの言葉をいただきます。今の子どもたちの大切な宝物である夏山川が、将来の子どもたちにとっても宝物であり続けてほしいと願っています。 ——夏山小学校校長



夏にホタルが舞い、アユが泳ぎ、田畠を潤して夏山の人々の生活を豊かに彩る夏山川。
子どもたちにとっても川の生物と触れ合える何よりの遊び場です。

夏山小の

夏山川の好きなところ BEST 3

NO.1 生きものがたくさんいるところ

- ・こんな生きものたちがいるよ！
サワガニ、ゲンジボタル、カワニナ、シマドジョウ、
アザラシ、ネコギギ、カワムツ、
ヨシノボリ…など



NO.2 川で遊べるところ

- ・せきですべり台遊びができるよ
- ・ちょっと深いところもあるんだよ

NO.3 川がきれいなところ

- ・川の中の魚が見えるんだ
- ・夏は水面がキラキラ光るよ



編集後記

普段生活していると感じることはありませんが、こうして作成委員会に携わり夏山学区の足跡を振り返りますと、先人たちの英知と努力に感嘆し、また1500年前から脈々と素朴な火まつりを行ってきたことに驚きを覚えます。

岡崎市制100周年となり、新東名高速道路の岡崎東インターチェンジが供用を開始し、2km圏内の夏山学区は利便性が良い学区になりました。

今後も伝統を継承し、豊かな自然を守っていきたいと考えています。

〔作成委員会〕 鈴木泰孝/菅沼健/柵木哲朗/黒屋三郎/
片岡正樹/清水友和/藤井弘朗/片原英夫/小林聰

〔参考資料〕 頼田町史/夏山小学校百年の年輪/
ぬかた町文化財めぐり/ふるさと読本ぬかた/
新編岡崎市史【頼田資料編III】

〔表紙写真〕 小学校にある自然の遊び場「夢山」の水車小屋前に、夏山小学校全児童が集合（2015年9月撮影）

祭りの結束は日頃の協力から生まれます

夏山の地域活動

夏山子ども守り隊

子どもたちが犯罪に巻き込まれないように平成18年に結成。小学生は常時隊員と一緒に下校します。当初は老人会、現在はPTAが運営しています。



守り隊のみなさんの温かい眼差しが、夏山の子どもたちの登下校の安心と安全を守ってくれています。いつもお世話になり、ありがとうございます。

夏山小学校校長
菅沼健さん

仙丸公墓所の清掃

武田の人質となり、13歳で処刑された仙丸公の墓所。この地区の人(10~15名)が毎月1回の清掃をしながら、墓所の管理をしています。



毎月はじめに柿平地区の老人会で行っています。作業後には集まつたみなさんとお喋りをするなど、みんなの笑顔を見られることも楽しみのひとつです。

小林聰さん

平針白山神社参道の清掃

白山神社の参道は1kmもあり、しかも森の中になります。落葉などで歩きにくいため、この地区の人(10~15名)が毎月1回、清掃をしています。



長年掃除をしているので、落葉の積もり具合が気になります。年2~3回、側溝の清掃時にマムシが出てくるので「かまれなくてよかったです」と思うこともあります!

鈴木葉子さん



③ 子どもが10人ばかりでも抱えられないほどだった、でいもんの大松

② 昭和32年から平成3年まで使用されていた木造建築の旧校舎

戦争の不安を抱えた中で行われた昭和19年の夏山国民学校の卒業式



① 三河の古社の一つである夏山八幡宮。拝殿の奥に本殿を構えている

一九三一年・昭和4年	五〇一年
一九三二年・建久4年	六四五五年・大化1年
一九三三年・天正1年	五三一年
一九三四年・永禄1年	五五八年・永禄1年
一九三五年・天正12年	五七三年・天正12年
一九三六年・明治11年	五七八年・明治11年
一九三七年・明治16年	一八七八年・明治16年
一九三八年・明治21年	一八七八九年・明治21年
一九三九年・明治22年	一八七八九年・明治22年
一九四〇年・明治23年	一八七八七年・明治23年
一九四一年・明治24年	一八七八六年・明治24年
一九四二年・明治25年	一八七八五年・明治25年
一九四三年・明治26年	一八七八四年・明治26年
一九四四年・明治27年	一八七八三年・明治27年
一九四五年・明治28年	一八七八二年・明治28年
一九四六年・明治29年	一八七八一年・明治29年
一九四七年・明治30年	一八七八〇年・明治30年
一九四八年・明治31年	一八七八九年・明治31年
一九四九年・明治32年	一八七八八年・明治32年
一九五〇年・明治33年	一八七八七年・明治33年
一九五一年・明治34年	一八七八六年・明治34年
一九五二年・明治35年	一八七八五年・明治35年
一九五三年・明治36年	一八七八四年・明治36年
一九五四年・明治37年	一八七八三年・明治37年
一九五五年・明治38年	一八七八二年・明治38年
一九五六年・明治39年	一八七八一年・明治39年
一九五七年・明治40年	一八七八〇年・明治40年
一九五八年・明治41年	一八七八九年・明治41年
一九五九年・明治42年	一八七八八年・明治42年
一九六〇年・明治43年	一八七八七年・明治43年
一九六一年・明治44年	一八七八六年・明治44年
一九六二年・明治45年	一八七八五年・明治45年
一九六三年・明治46年	一八七八四年・明治46年
一九六四年・明治47年	一八七八三年・明治47年
一九六五年・明治48年	一八七八二年・明治48年
一九六六年・明治49年	一八七八一年・明治49年
一九六七年・明治50年	一八七八〇年・明治50年
一九六八年・明治51年	一八七八九年・明治51年
一九六九年・明治52年	一八七八八年・明治52年
一九七〇年・明治53年	一八七八七年・明治53年
一九七一年・明治54年	一八七八六年・明治54年
一九七二年・明治55年	一八七八五年・明治55年
一九七三年・明治56年	一八七八四年・明治56年
一九七四年・明治57年	一八七八三年・明治57年
一九七五年・明治58年	一八七八二年・明治58年
一九七六年・明治59年	一八七八一年・明治59年
一九七七年・明治60年	一八七八〇年・明治60年
一九七八年・明治61年	一八七八九年・明治61年
一九七九年・明治62年	一八七八八年・明治62年
一九八〇年・明治63年	一八七八七年・明治63年
一九八一年・明治64年	一八七八六年・明治64年
一九八二年・明治65年	一八七八五年・明治65年
一九八三年・明治66年	一八七八四年・明治66年
一九八四年・明治67年	一八七八三年・明治67年
一九八五年・明治68年	一八七八二年・明治68年
一九八六年・明治69年	一八七八一年・明治69年
一九八七年・明治70年	一八七八〇年・明治70年
一九八八年・明治71年	一八七八九年・明治71年
一九八九年・明治72年	一八七八八年・明治72年
一九九〇年・明治73年	一八七八七年・明治73年
一九九一年・明治74年	一八七八六年・明治74年
一九九二年・明治75年	一八七八五年・明治75年
一九九三年・明治76年	一八七八四年・明治76年
一九九四年・明治77年	一八七八三年・明治77年
一九九五年・明治78年	一八七八二年・明治78年
一九九六年・明治79年	一八七八一年・明治79年
一九九七年・明治80年	一八七八〇年・明治80年
一九九八年・明治81年	一八七八九年・明治81年
一九九九年・明治82年	一八七八八年・明治82年
二〇〇〇年・明治83年	一八七八七年・明治83年
二〇〇一年・明治84年	一八七八六年・明治84年
二〇〇二年・明治85年	一八七八五年・明治85年
二〇〇三年・明治86年	一八七八四年・明治86年
二〇〇四年・明治87年	一八七八三年・明治87年
二〇〇五年・明治88年	一八七八二年・明治88年
二〇〇六年・明治89年	一八七八一年・明治89年
二〇〇七年・明治90年	一八七八〇年・明治90年
二〇〇八年・明治91年	一八七八九年・明治91年
二〇〇九年・明治92年	一八七八八年・明治92年
二〇一〇年・明治93年	一八七八七年・明治93年
二〇一一年・明治94年	一八七八六年・明治94年
二〇一二年・明治95年	一八七八五年・明治95年
二〇一三年・明治96年	一八七八四年・明治96年
二〇一四年・明治97年	一八七八三年・明治97年
二〇一五年・明治98年	一八七八二年・明治98年
二〇一六年・明治99年	一八七八一年・明治99年
二〇一七年・明治100年	一八七八〇年・明治100年

こめて火まつりをやるんだよ」と
誇らしげに話してくれます。



||||| 鬼の所作にも注目!!



▷獅子討ちの所作

▷ご褒美に米俵を頂く

鬼役は5人いて、交代時には相撲、鈴の舞、薙刀の舞、小刀の目利き、獅子討ちの所作を行います。相撲に勝利、または見本通りの所作ができれば交代し、そうでなければ再度、燃え木を手にして参拝客を追い回すことになります。

夏山は継体天皇の時代、501年に額田部貞治卿が勅勘を蒙り、三河国に来て夏山郷を開きました。戦国時代になると、作手の奥平貞久の三男但馬久正が平針に砦を築き、國に来て夏山郷を開きました。元龜天正の頃には度々の合戦で武功をたてました。戦いといえば夏山衆はしんがりを命ぜられるほどの実力があつたと伝えられています。後に長篠城主となる奥平信昌の弟「仙丸」が武田の人質になりましたが、滝山合戦で武田に反旗を翻し、徳川についたため鳳来寺で処刑。その後峰連山の一隈に残る七人塚は、持ち帰った仙丸の首を奪還しに来た武田七士が、黒屋一族によって討たれれた場所を示しています。七人塚は夏山人の信義と団結を表す遺跡です。明治に入り、額田県から愛知県に変わると同時に6村が夏山村となり、

夏山は継体天皇の時代、501年に額田部貞治卿が勅勘を蒙り、三河国に来て夏山郷を開きました。戦国時代になると、作手の奥平貞久の三男但馬久正が平針に砦を築き、國に来て夏山郷を開きました。元龜天正の頃には度々の合戦で武功をたてました。戦いといえば夏山衆はしんがりを命ぜられるほどの実力があつたと伝えられています。後に長篠城主となる奥平信昌の弟「仙丸」が武田の人質になりましたが、滝山合戦で武田に反旗を翻し、徳川についたため鳳来寺で処刑。その後峰連山の一隈に残る七人塚は、持ち帰った仙丸の首を奪還しに来た武田七士が、黒屋一族によって討たれれた場所を示しています。七人塚は夏山人の信義と団結を表す遺跡です。明治に入り、額田県から愛知県に変わると同時に6村が夏山村となり、

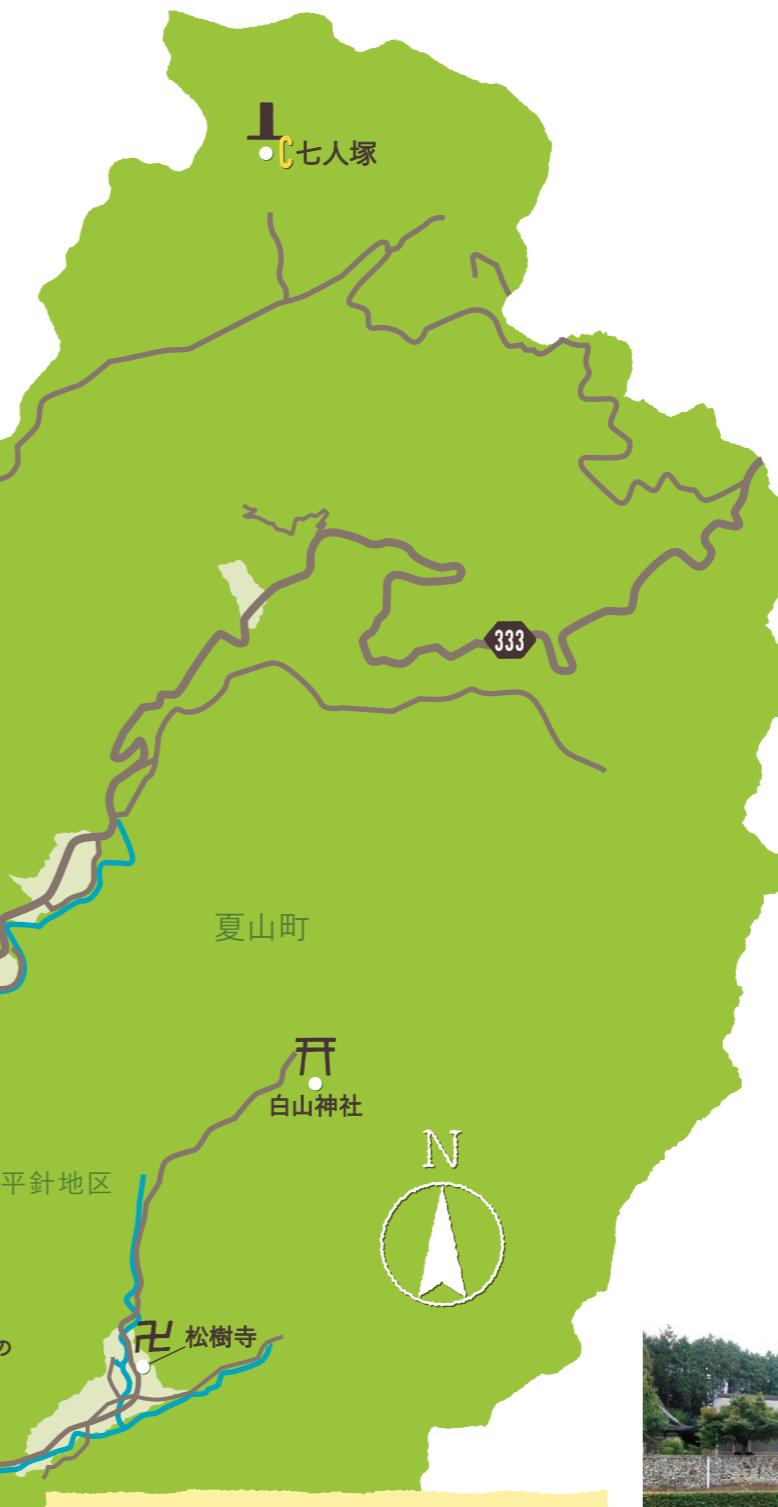
夏山のこと



人口	728人
男性	325人
女性	403人
世帯数	299世帯
面積	17.16km ²
[2016年7月1日現在]	

夏山の歴史と自然を巡る

戦乱の世に、わずか13歳で命を落とした奥平仙丸。その首を巡って仙丸の乳母や奥平家家臣である黒屋一族が繰り広げた愛と義の物語は、今も私たちの心を熱くします。また夏山には推定樹齢1000年とされる寺野の大楠や、根上がりの大杉といった巨木のパワースポットもあり、奥深い自然も知られています。歴史と自然に彩られた夏山を訪れてみませんか？



夏山小学校

自然を活用した環境学習や理科教育に定評のある小学校。平成13年と14年には、ソニー教育財団「子ども科学教育プログラム」の最高賞入選校を連続受賞。学校関係緑化コンクール「学校環境緑化の部」では平成22年に県の特選、23年に全国の準特選に入賞など実績を残しています。

